

町道織笠・外山線 拡幅・改良工事は

2020年度に実施する計画

問 交通網の整備について伺う。

三陸沿岸道路山田北インターの「フルインター」の実現について、30年第1回定例会では宮古市復興道路推進室と連携を図りながら、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などともに実現に向け強く要望していくとのことであったが、この1年間どのような要望活動を行ってきたのか。

良は、31年度に調査・設計を進めるとのことだが、拡幅・改良工事については2020年度に実施をするのか。

私は、31年度に調査・設計を進めるとのことだが、拡幅・改良工事については2020年度に実施をするのか。

31年度から私道等整備補助金の補助率を10分の5から10分の7に引き上げる予定だが、補助額の上限は設けるのか。

佐藤町長 三陸沿岸道路山田北インターの「フルインター」については、三陸国道事務所および宮古市とフル化に向け、今後の進め方や方向性について協議をしております、その中で三陸国道事務所にはフル化に対する町の要望を伝えていく。しかし、現時点では、三陸沿岸道路の未供用区間となつていて自治体もあることから、2020年度の全線開通に向け、沿線自治体が一体となつて取り組んでいくことが重要と確認しており、実現に向け今後も引き続き要望していく。

町道織笠・外山線礼堂地区の道路幅拡幅・改良工事については、2020年度に工事着手する計画である。

私道等整備補助額の上限は1件当たり150万円としている。

閉校後の学校施設の活用は

推進委員会で検討する

問 小中学校の再編については、中学校1校、小学校3校という方針が示されたが、閉校後の校

舎、体育館の活用計画について伺う。また、合意が得られた地区には準備委員会を設置し、新学校

新たな観光拠点

新施設建設の財源は

過疎債において財源を確保

問 新たな観光拠点については、前県立山田病院跡地を整備し、新施設建設に向けた取り組みを本格化することである。

の補助金導入予定はないが、条件に合う補助金がある場合は活用したい。

新施設は相応の建設費用が見込まれ、何らかの助成事業が必要と思われるが、どのような補助メニューの導入を想定しているのか。

町長 新たな観光拠点整備事業は多額の建設費用が必要になると考えており、過疎債の借り入れにより必要な財源を確保する考えである。現時点で

開校に向け準備を進めるとのことだが、準備委員会はどのような人たちを想定しているのか。

佐々木教育長 閉校後の校舎、体育館の活用計画については、今後設置予定の山田町公共施設等総合管理計画推進委員会において検討していく。準備委員会は校長、副校長、PTA等を想定して教育委員会が事務局となり進めていく。



議員 佐藤克典
(政和会)



跡地が新たな観光拠点施設として整備される
前山田病院付近